

**NEC**

GVT-133262-001-00 1.0

QX-S4300X シリーズ  
取扱説明書

日本電気株式会社

## 改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2020/06	・初版発行

# 序

このたびは QX-S4300X シリーズをお買い上げ頂きありがとうございます。

ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

QX-S4300X シリーズの装置の立上げおよび運用時の操作は、以下のマニュアルに従って操作してください。

お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

- ・ 本製品について(本資料内)
- ・ 安全上のご注意(本資料内)
- ・ QX-S4300X シリーズ レイヤ 3 Ethernet スイッチ インスタレーションマニュアル GVT-133263-001-00
- ・ QX-S4300X シリーズ レイヤ 3 Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル GVT-133264-001-00
- ・ QX-S4300X シリーズ レイヤ 3 Ethernet スイッチ コマンドマニュアル GVT-133265-001-00

なお、本取扱説明書では、パソコンおよびネットワークについての基本的な操作や設定ができる方を対象に説明しています。パソコンの操作や一般的なネットワークの設定については、お使いの製品の説明書や市販の書籍などをご覧ください。

## ご注意

- (1) 本取扱説明書に含まれる情報は、当社(日本電気株式会社)の所有するものです。当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
- (2) 当社は、予告なしに本取扱説明書の全体または一部を修正・改訂することがあります。また改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。
- (3) 本取扱説明書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきのことがありましたら、ご一報くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果については、上項に関わらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

## 本製品について

### ■ 輸出に関する注意事項

- 本製品(または技術)は、外国為替及び外国貿易法に基づくリスト規制の該当貨物(または技術)ですので、輸出(または非居住者への技術の提供あるいは外国において技術の提供をすることを目的とする取引)を行う場合には、経済産業大臣の輸出許可(または役務取引許可)が必要となります。
- 本製品には米国の輸出関連法令の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。
- 本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。  
本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

### ■ 廃棄方法について

当社では、各種使用済み情報通信機器の回収・リサイクルが可能な体制が整っております。  
本製品を廃棄する際には、下記ホームページに示します NEC 情報通信機器回収拠点に対し、使用済み情報通信機器の回収依頼として連絡してください。その都度、当該回収拠点との間で委託契約を締結していただいた上で、処理を実施させていただきます。

<https://jpn.nec.com/eco/ja/recycle/method/it/index.html>

### ■ リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本製品のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

### ■ ソフトウェア使用許諾契約について

本製品を使用することによって、お客様が使用許諾契約書の条項に拘束されたことに同意したものとします。使用許諾契約書に同意されない場合は、日本電気株式会社は本製品のソフトウェアの使用または複製のいずれも許諾できません。

### ■ OSS ライセンス

ソフトウェア使用許諾書のいかなる規定も、OSS ライセンスに基づいてお客様が有する権利を制限しないものとします。

### ■ 商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、および SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本取扱説明書、および本取扱説明書に記された各マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

### ■ 技術基準適合認定について

電気通信事業法における端末機器の技術基準適合認定を取得していない製品を電気通信事業者(NTT など)の通信回線設備に接続する場合は、事前に接続許可を取ってください。また、設置する際には有資格者(工事担任者)による工事の実施などが必要となります。技術基準適合認定を取得している製品については”適合技術法規制一覧”を参照してください。

## 適合技術法規制一覧

QX-S4300X シリーズは以下の技術法規制に適合しています。

### ⚠ 重要

QX-S4300X シリーズは以下の技術法規制に適合しています。  
ただし、製品名が以下に示した名称と異なる場合は、以下の認証は無効ですので製品名と適合している認証をご確認ください。

#### ■ VCCI/電気通信事業法

対象製品	VCCI	電気通信事業法 技術基準適合認証番号
QX-S4308XT-2X	Class A	D19-0228001 L19-0012
QX-S4314XT-2X	Class A	D19-0230001 L19-0013

#### ■ 電気通信事業法及び端末設備等規則に基づく技術基準/技術的条件

対象製品	対象のインタフェース	通信方式
QX-S4308XT-2X	Fixed 8 port 1/10GBASE-T	技術基準 ISO 8802-3 section 40(1000BASE-T) *1 技術的条件 IEEE 802.3an (10G BASE-T)
	1port 1000BASE-SX SFP(MM, LC)	技術基準 ISO 8802-3 section 38.3(1000BASE-SX)
	1port 1000BASE-LX SFP(SM, LC)	技術基準 ISO 8802-3 section 38.4(1000BASE-LX)
	1port 10GBASE-SR SFP+(MM, LC)	技術的条件 IEEE 802.3ae
	1port 10GBASE-LR SFP+(SM, LC)	技術的条件 IEEE 802.3ae
	1port 10GBASE-ER SFP+(SM, LC)	技術的条件 IEEE 802.3ae
QX-S4314XT-2X	Fixed 14 port 1/10GBASE-T	技術基準 ISO 8802-3 section 40(1000BASE-T) *1 技術的条件 IEEE 802.3an (10G BASE-T)
	1port 1000BASE-SX SFP(MM, LC)	技術基準 ISO 8802-3 section 38.3(1000BASE-SX)
	1port 1000BASE-LX SFP(SM, LC)	技術基準 ISO 8802-3 section 38.4(1000BASE-LX)
	1port 10GBASE-SR SFP+(MM, LC)	技術的条件 IEEE 802.3ae

対象製品	対象のインターフェース	通信方式
	1port 10GBASE-LR SFP+(SM, LC)	技術的条件 IEEE 802.3ae
	1port 10GBASE-ER SFP+(SM, LC)	技術的条件 IEEE 802.3ae

\*1 2011年4月より1000BASE-Tは「技術的条件」から「技術基準」に含まれるよう改正されました。

■ 電気用品安全法

対象製品	電気用品安全法
ACケーブル	内規適用 (マニュアル内にて汎用性が無いことを記載)

## 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

### 使用上の注意事項

ここでは、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。

#### ■ 情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

装置、添付品には同様の主旨をもつ内容、もしくはマークを記載しています。

#### ■ 医療機関等での使用

本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、当社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。

設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

#### ■ あらかじめご了承ください

本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信(通話)の機会を逸したために生じた損害などの纯粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

#### ■ 本製品を分解したり改造したりすることは、危険ですので絶対に行わないでください。

なお、本取扱説明書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売店でお求めください。

表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

<本取扱説明書中のマークの説明>

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、利用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、利用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の機能停止や低下が生ずる内容を示しています。

	誤った取り扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、製品を水場で使用することを禁止することを示しています。
	安全のため、製品を分解することを禁止することを示しています。
	安全のため、AC/DC電源ケーブルを必ず装置本体の電源ソケットから抜くように指示するものです。
	安全のため、アース端子付きの製品には、必ずアースケーブルを接続するように指示するものです。
	安全のため、20kg以上の製品を一人で持ち上げるのを禁止することを示しています。
	安全のため、クラス1のレーザー光線を使用する機器ではレーザー光を直接見るのを禁止することを示しています。
	安全のため、クラス1Mのレーザー光線を使用する機器ではレーザー光を光学機器で直接見るのを禁止することを示しています。
	表面温度が高くなっており、誤った取り扱いをすると、やけどを負う可能性が想定されることを示しています。
	回転物のため、誤った取り扱いをするとけがを負う可能性が想定されることを示しています。

## 1 電源に関するご注意



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。  
感電の原因となります。
- ACアダプタは、必ず指定のACアダプタを使用してください。  
指定以外のACアダプタを使用すると感電、火災の原因となることがあります。
- 本製品に添付しているAC電源ケーブルは100V用です。使用する電源電圧を確認し、使用してください。  
他の製品に転用して使用することはできません。  
火災や感電の原因となり、大変危険ですので、他の製品で使用しないでください。  
本製品への電源供給は、本製品に添付している電源ケーブルを利用してください。  
200Vなどの高電圧の環境で本製品を使用する場合は、お客様側で別途AC電源ケーブルを用意してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりしないでください。  
電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。  
万一、電源ケーブルが傷んだ場合、お買い求めになった販売店または工事・保守者に修理を依頼してください。
- 電源プラグをタコ足配線でコンセントにつながないでください。  
火災・感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ホコリが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。ホコリにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

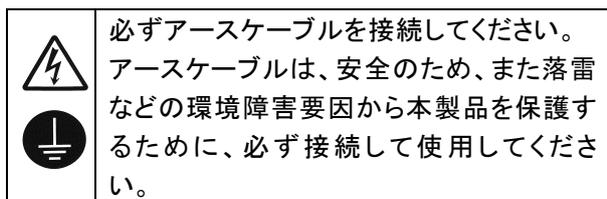


- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。  
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを熱器具に近づけないでください。電源ケーブルの被覆が溶けることがあります。  
電源ケーブルの被覆が溶けると、火災・感電の原因となります。



- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
 	電源ケーブルを装置本体に固定するときは、いつでも装置本体の電源を切断できるように、電源ケーブルのプラグおよびコンセントにすぐ手が届く状態にしておいてください。	 	電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。ケーブルの損傷による火災、感電の原因となります。
 	本製品に添付の電源ケーブルは、AC100V(50/60Hz)、DC-48Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると、火災や、感電の原因となります。		電源ケーブルを装置本体に接続してあるときは、ぬれた手で本製品に触らないでください。感電の原因となります。
	ぬれた手で電源ケーブルを電源ソケットに接続したり、電源プラグをコンセントに抜き差ししたりしないでください。感電の原因となります。	 	機器およびケーブルを接続する場合には、必ず電源ケーブルを装置本体の電源ソケットから外してください。電源ケーブルを電源ソケットに接続したまま、機器およびケーブルの接続をすると、感電の原因となります。
 	AC電源プラグはACコンセントに確実に差し込んでください。 電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因となります。	 	アースケーブルの接続/取り外しをする場合には必ず電源ケーブルを電源ソケットから外してください。電源ケーブルを電源ソケットに接続したまま、アースケーブルの接続/取り外しをすると、感電の原因となります。
 	DC電源ケーブルの圧着端子はDC電源ソケットにしっかりネジ止めしてください。ネジ止めがゆるいと電源ソケットが発熱し、火災や、感電の原因となります。		本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源ケーブルを電源ソケットから外しておいてください。
 	電源ケーブルの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。 電源コネクタが過熱し、火災、感電の原因となります。		AC電源コンセントは、アースの処理をされた3端子のコンセントを使用してください。
 	電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。		
 	電源ケーブルの上にものを載せないでください。 電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。		



## 2 保管および使用環境に関するご注意



- 水、油、薬品などの液体がかかるような場所、湯気のあたる場所や加湿器のそばなどの湿度が高い場所、ほこりの多い場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 本製品の上や近くに液体が入った容器、またはクリップやネジなどの小さな金属物を置かないでください。  
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。

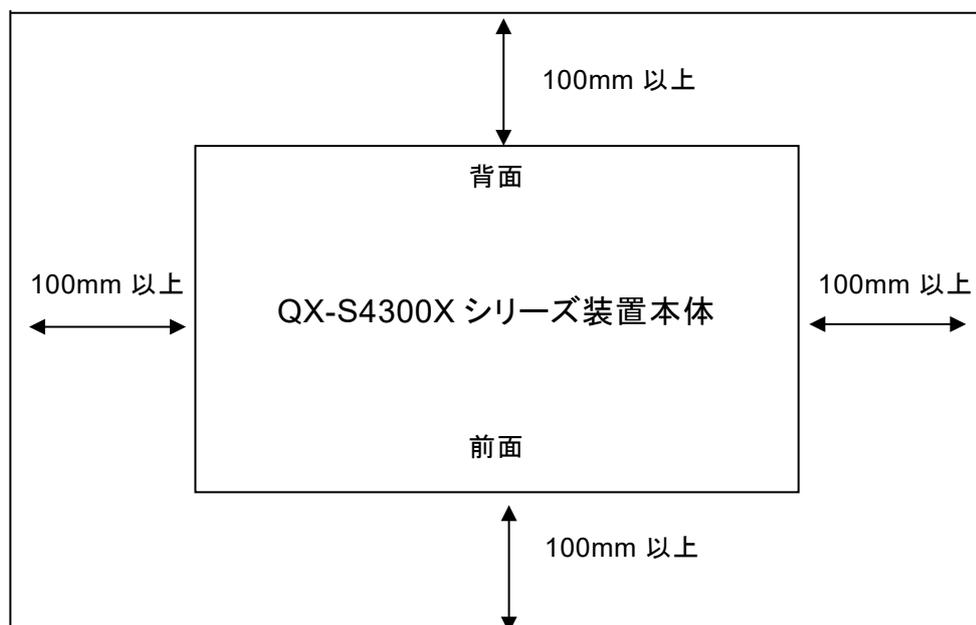


- 直射日光のあたる場所や、暖房設備のそばなど、温度の高いところに置かないでください。  
内部温度が上がり、故障の原因となります。
- 温泉地など、硫化水素の発生する場所や、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本製品の寿命が短くなる恐れがあります。



- テレビ、ラジオ、無線機などの磁気、電波や磁波が発生している場所や違法無線を受けるところに置かないでください。またそのようなものを近づけないでください。  
正常に動作しなくなることがあります。

< 上 面 図 >



< 正 面 図 >

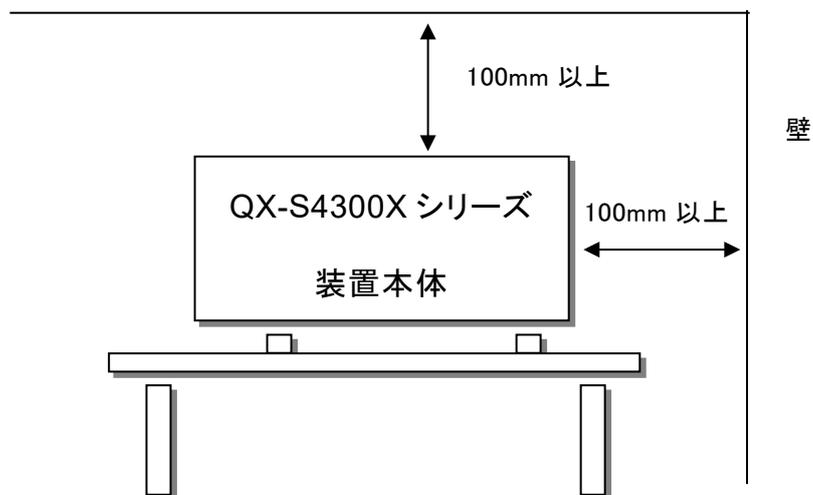


図1 単体設置時のスペース要求

 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
 	本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないでください。 液体が本製品にこぼれたり、本製品の中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。	 	本製品や電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。 キャビネットや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
  	本製品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災、感電の原因となります。	 	本製品を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。
 	ぎっくり腰や落下事故防止のため取り外しの際は2人で行ってください。		本製品を直射日光のあたるところに置かないでください。また、温度の高いところでの使用をしないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。
			本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。
			本製品を不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。落下などにより、けがの原因となることがあります。
			本製品を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落下などにより、けがの原因となることがあります。
			本装置は、ゴム足が下になるように置いてください。 倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
			本製品をラジオやテレビなどのすぐそばで使用するとラジオやテレビに雑音が入ることがあります。また強い磁界を発生する機器などが近くにあると、逆に本製品に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離して使用してください。

### 3 装置本体の取り扱いに関するご注意



- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源を切って、お買い求めになった販売店または工事・保守者に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、本製品を倒したり、破損したりした場合は、お買い求めになった販売店または工事・保守者に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、本製品内部に水などの液体が入った場合は、お買い求めになった販売店または工事・保守者に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で本製品の操作をしないでください。感電の原因となります。
- 本製品を改造や分解し、内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。(分解・改造された製品については、修理に応じられない場合があります。)
- お客様が用意された機器などを本製品に接続する場合は、あらかじめお買い求めになった販売店または工事・保守者に確認してください。製品によっては、本製品や接続した機器が正常に動作しないことがあります。



- 本製品が動作時は長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。



- 本製品に衝撃を与えるようなことはしないでください。故障の原因となります。
- 本製品は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。お手入れは柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。

 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
  	<p>万一、本製品を落としたり、破損したりした場合、電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>	  	<p>落雷の恐れのあるときは、本製品の電源を切り、電源ケーブルを電源ソケットから外し、使用をお控えください。</p> <p>雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。</p>
  	<p>万一、本製品の内部に水などの液体が入った場合は、電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>		<p>雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
  	<p>万一、異物が本製品の内部に入った場合は、電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>		<p>装置本体および電源モジュール内部には、表面温度が高くなる部品があります。運用中または運用直後の装置本体および電源モジュールに触れないでください。やけどの原因となることがあります。</p>
  	<p>電源ケーブルが傷んだときは、すぐに電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>		<p>運用中の装置に触れたまま長時間使用しないでください。低温やけどの原因となることがあります。</p>
  	<p>万一、本製品から煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは、すぐに電源ケーブルを電源ソケットから外し、異常がおさまるのを確認して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>		
	<p>FANユニット内のファンモータは高速に回転しています。運用中または運用直後のFANユニットに触れないでください。けがの原因となることがあります。</p>		

#### 4 お手入れに関するご注意



- 本製品を静電気集塵型化学ぞうきんで絶対に拭かないでください。  
故障の原因となります。



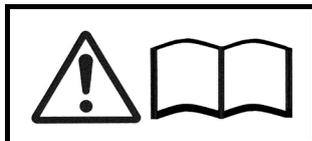
- 本製品をベンジン、シンナー、アルコールなどで絶対に拭かないでください。  
変色や変形の原因となります。汚れがひどいときには、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってから  
汚れを拭きとり、その後柔らかい布でから拭きしてください。
- 本製品のお手入れをされるときは、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。

 <b>注 意</b>	
	本製品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源ケーブルを電源ソケットから外してください。
	購入後、1年に1度は内部の掃除を販売店または担当のサービスセンターにご相談ください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。 なお、内部掃除費用については、販売店または担当のサービスセンターにご相談ください。
本製品の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。 ベンジン、シンナーなど(揮発性のもの)や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因になることがあります。 また、殺虫剤などをかけた場合にも変形や変色の原因になることがありますので注意してください。	

## 5 禁止事項

 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
 	当社サービスマン以外は、本製品内部の点検調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。 本製品の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。 本製品内部の点検、調整、清掃、修理は、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに依頼してください。	 	本製品の通風口など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
  	当社サービスマン以外は、本製品の分解・改造は絶対にしないでください。 火災、感電、故障の原因となります。		本製品の上にものを載せたり、本製品に乗ったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では注意してください。壊れたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。
 	本製品に水などの液体が入ったり、本製品をぬらしたりしないよう注意してください。 火災、感電、故障の原因となります。		
	ヒューズの点検、交換は、危険ですから絶対にしないでください。 感電の原因となります。 ヒューズの点検、交換は、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに依頼してください。		
	クラス1のレーザー光線を使用する機種では、OPTOUT(光出力)端子や接続されたファイバーケーブルから出力されるレーザー光をのぞきこまないでください。 目を傷める原因となります。		
	クラス1Mのレーザー光線を使用する機種では、OPTOUT(光出力)端子や接続されたファイバーケーブルから出力されるレーザー光を光学機器で直接見ないでください。 目を傷める原因となります。		
 	当社サービスマン以外は、構成部品、コネクタモジュールの清掃は危険ですから絶対にしないでください。 感電、けが、故障の原因となります。		

## 6 操作上のご注意



■ QXシリーズの装置立ち上げおよび運用時の操作は、以下のマニュアルに従って操作してください。

### 【安全上のご注意／安全にお使い頂くために／装置別取扱説明書】

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために守っていただきたい事項を説明します。

### 【インストールマニュアル】

システムの立ち上げ手順、初期設定から動作確認までを説明します。

### 【オペレーションマニュアル】

システムの立ち上げ手順、運用開始の初期設定、および各種機能の説明と設定手順を説明します。

### 【コマンドマニュアル】

コマンド機能、パラメータ説明、および入力例を説明します。

QX-S4300X シリーズ 取扱説明書  
GVT-133262-001-00

発行元 日本電気株式会社

- ・本説明書に記載された内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本製品は外国為替および外国貿易管理法により戦略物資等(または役務)に該当しますので、日本国外に輸出する場合には、国法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。
- ・本説明書に記載されている社名、製品名はそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

日本電気の許可なく複製・改変等を行うことはできません。